

ctc セキュア ID 利用規約

2021 年 3 月 1 日

中部テレコミュニケーション株式会社

第1条(本規約の適用)

1. 中部テレコミュニケーション株式会社(以下「当社」という)は、この ctc セキュア ID 利用規約(以下「本規約」という)、法令及び当社が定める諸規則に従って、「ctc セキュア ID」(以下「本サービス」という)を提供します。
2. 利用者は、本サービスを利用するに当たり、GMO グローバルサイン株式会社(以下「グローバルサイン」という)との間で、グローバルサインの定めるトラスト・ログイン利用約款及びトラスト・ログインオプションサービス利用約款(以下「トラスト・ログイン利用約款」という)に同意する必要があります。当社は、利用者に本サービスを提供する場合、利用者がトラスト・ログイン利用約款に同意していることを前提とします。ただし、本規約の内容がトラスト・ログイン利用約款の内容と矛盾または抵触する場合には、本規約の定めを優先するものとします。

第2条(契約の成立)

1. 申込の方法

- (1)利用者が当社の提供する本サービスを申し込む場合には、所定の申込書に必要事項を記入した上、当社に対して申込を行うものとします。
- (2)本サービスの申込に際しては本規約の全ての内容を確認の上、利用者は本サービスの申込をもって、同時に本規約に同意したものとみなされます。
- (3)利用者は、本サービスの実際の利用開始が、申込の状況等により遅れる場合があることを、予め了承するものとします。

2. 契約の成立

- (1)本規約に基づく当社と利用者間の契約(以下「利用契約」という)は、当社が利用者の申込を承諾した時に成立するものとします。この時点をもって、本サービス利用に関して、利用者は本規約に拘束されることとなり、また当社は本規約に基づき本サービスを利用者に提供する義務を負います。
- (2)当社は、利用者について次の各号に掲げるいずれかの事由がある時は、本サービスの申込に対して承諾を行わないことがあります。
 - (a) 本規約に違背して本サービスを利用するおそれがあると当社が判断した場合。
 - (b) 当社に対して負担する債務の履行について現に遅滞が生じている場合、または過去において遅滞の生じたことがある場合。
 - (c) 本サービスの申込に際して当社に対し虚偽の事実を申告した場合。
 - (d) 本人確認を行うことができない場合。
 - (e) その他、理由の如何を問わず、当社が申込の承諾が適当ではないと判断した場合。

第3条(規約の変更)

当社は、民法の定めに従い、契約者の承諾を得ることなく、この規約を変更することがあります。この

場合、当社は、変更後のこの規約及びその効力発生時期を、本サービスに係る Web サイト又は当社の運営するホームページに掲載して周知するものとします。また改定されたこの規約は、当該効力発生時期が到来した時点で効力を生じるものとし、以後本サービスの内容及び料金その他提供条件は変更後の規約によります。

第4条(本サービスの内容)

1. 本サービスは、クラウドサーバー上でサービスの ID 管理、アクセスコントロールを行うことのできるクラウド型 ID 管理サービスです。
2. 当社は、機能の追加、拡張及び削除等、本サービスの内容を変更することがあります。

第5条(利用期間及び更新)

1. 利用期間

本サービスの利用期間とは本サービスの内、それぞれの該当サービスの契約期間を意味します。この利用期間の開始日は、第2条第2項の契約成立日となります。

2. 更新

- (1) 本サービスの初回の利用期間は、利用開始日からその日が属する月の末日までとします。
- (2) 2回目の契約期間は初回の利用期間終了の翌月1日から始まり、利用期間の末日の6営業日前までに利用者から解約の申し出がない限り、利用契約は同一内容で更新され、それぞれのサービスの次の契約期間(1カ月間)につき延長されるものとします。3回目以後の契約期間についてもこれを繰り返すものとします。

第6条(サポート)

本サービスに関するサポートは、その内容、時間、方法等の詳細について、当社が別に定めるサポートポリシーに従って行われるものとします。

第7条(利用者 ID 等の管理責任)

1. 当社は、本サービスにアクセスするために必要なユーザ ID 及びパスワード(以下「ID 等」という)を利用者に対して発行します。
2. 利用者は、ID 等を責任のある管理者の注意をもって適切に管理し、これらが他者に漏洩しないように厳重に保持する義務があります。当該 ID 等を第三者に利用、貸与、譲渡、売買、質入、公開等を行うことはできません。
3. 利用者のうち、管理者に任せられた者が、利用者の範囲内で他ユーザを設定する行為については前項の例には当たりません。
4. ID 等については、利用者がこれを紛失した場合、再発行が不可能になる場合がありますので、利用者は自己の責任においてこの管理を行うことが利用上の必須条件となります。
5. 当社は、本サービスにアクセスしようとする者に対して ID 等の入力を求めることによってその者のアクセスの権限の有無を確かめる場合で、正しい ID 等を構成する文字列と入力された ID 等を構成する文字列が一致する時は、その者にアクセスの権限があるものとして取り扱います。利用 ID 及びパスワードの管理不十分による情報の漏洩、使用上の過誤、保管不全、第三者の使用及び不正アクセス等による損害の責任は利用者が負うものとし、当社は一切の責任を負いません。また、不正使用やセキュリティ上の侵害を発見した場合には、当社へ通知する必要があります。
6. 利用者は、ウイルス、ワーム、トロイの木馬、その他の有害かつ破壊的なコンテンツから利用者ご自身と利用者のコンピュータシステムを保護するために、必要に応じて予防策をとる責任があります。当社は、利用者が何らかの方法で取得した外部コンテンツに起因する損害に対しては如何なる責任も負うものではありません。

第8条(利用者内のユーザ管理者)

1. 利用者の内部でアカウントを管理するユーザ管理者に任せられた者は、組織内の他ユーザに対し、自己の責任においてアカウントの設定、変更を行うものとします。
2. ユーザ管理者は、本規約の利用に関する規定を他ユーザに対しても周知させ、適正なる利用を維持させるものとします。

第9条(禁止行為)

1. 利用者は、本サービスを利用して、次の各号に掲げる行為を行い、または第三者に行わせてはいけません。
 - (1)本規約に反する行為。
 - (2)犯罪行為または犯罪行為に結びつくおそれのある行為。
 - (3)本サービスに関連するプログラムの修正、翻訳、変更、解析、その他当社若しくは第三者の知的財産権を侵害する行為または侵害するおそれのある行為。
 - (4)第三者のプライバシーを侵害する行為または侵害するおそれのある行為。
 - (5)当社またはグローバルサインの設備に不合理な程度の過大な負荷を与える行為。
 - (6)当社及び本サービスの信用を毀損する行為または毀損するおそれのある行為。
 - (7)本サービスの脆弱性を公表することにより、当社または本サービスの他の利用者に危険を及ぼす行為。
 - (8)当社が提供するプラグイン、推奨ブラウザ以外からのシステムへアクセスする行為。
 - (9)サービスの機能やセキュリティの内容を改ざんする行為。
 - (10)前各号に掲げる他、当社が不適切と判断する行為。
2. 当社は、利用者が前項の禁止行為を行い、または第三者に行わせている時は、事前の催告なく、直ちに本サービスの提供を停止することができるものとします。また、当社に既に損害が発生している場合は、この回復のための措置を利用者の了解によらず実行できるものとします。

第10条(利用者の譲渡転貸等の禁止)

1. 利用者は、本規約に基づく利用者の地位、権利及び義務について、これを利用者の範囲を超えた第三者に譲渡し、転貸し、または担保に供することはできません。
2. 前項に関し、利用者がこれに違反し、利用者、当社、或いは他の第三者に何らかの損害が発生した場合には、この一切の責任を当該利用者が負うものとします。

第11条(変更の届出)

1. 本サービスの申込の際に当社に知らせた事項について変更があった時は、当社が別に定める方式に従って、変更の内容を速やかに当社に届け出がなされるものとします。
2. 当社は、前項の届出が当社に到達し、かつ、当社が変更の事実を確認するまでは、変更のないものとして本サービスの提供を行います。
3. 第1項及び第2項の規定は、本条により当社に届け出た事項について更に変更があった場合にもこれを適用します。
4. 第1項の規定は、利用者において、相続または合併により本規約に基づく利用者の地位の承継があった場合には必須の事項となります。この場合には、本規約に基づく利用者の地位を承継した当事者が、本条に定める変更の届出を行うものとします。この場合の通知がない場合には、その時点までに提供されていた本サービスは当社規定に基づいて終了、或いは変更がなされるものとします。

第12条(管理作業による中断)

1. 当社は、次の各号に掲げるいずれかの事由がある時は、利用者に事前の連絡をすることなく、当社の判断で本サービスの提供の一時的な中断、クラウドサーバーの調査、設定変更、修理その他のメンテナンス作業を行うことができるものとします。当社がこれらの管理作業を第三者に委託する場合も同様とします。
 - (1)クラウドサーバーの保守または点検等を行う場合。
 - (2)本サービスの提供に必要なソフトウェア等(以下「本ソフトウェア等」という)のアップデートを行う場合。
 - (3)クラウドサーバー、本ソフトウェア等の不具合等の修理または修正等を行う場合。
 - (4)その他、運用上または技術上の理由で止むを得ないと当社が判断する場合。
2. 当社は、前項の管理作業によって利用者に生じた損害については一切の責任を負いません。

第13条(免責)

1. 当社は、本サービスに関するユーザ管理者のユーザ設定については一切関知しません。また、このユーザ設定に関する如何なる責任も負いません。
2. 当社は、次の各号に掲げる事項、その他本サービスに関する事項について如何なる保証も行わず、また、如何なる責任も負いません。
 - (1)本サービスが一時的な中断、停止または廃止されるものではないこと。
 - (2)本サービスの提供、或いは維持管理上、利用者データの滅失、損傷が全くないこと。
 - (3)本サービスの内容または機能が特定の利用目的にかなうこと。
 - (4)本サービスを利用することが何らかの第三者の権利を侵害するものではないこと。
3. 当社は、前項の本サービスの一時的な中断、または本サービスの全部若しくは一部の停止、その他本サービスに関連して利用者に結果的に生じた損害については、如何なる責任も負いません。

第14条(当社の損害賠償)

1. 本規約で別途規定されていない限り、以下の如何なる保証、損害に関しても当社は責任を負いません。
 - (1)偶発的な事情からの損害、特別な事情で発生した損害、及び逸失利益。
 - (2)サービス内容と効果の保証、特定目的への適合性。
 - (3)他者からのハッキングリスク、不正アクセスによる損害のないこと。
 - (4)サービス内容の完全性、及びエラーのないこと。
 - (5)本サービスの利用から人的、物的損害等何らかの損害が誘引されないこと。
 - (6)本サービスに関するデータ、システム中に何らかのバグもコンピュータウイルスも存在しないこと。
2. 当社が利用者に負う責任の範囲は、何らかの損害、損失、障害に関し、それが前項の如何なる事由によるものであれ、その発生時点の前の12カ月分の利用料金の総額を支払限度額とします。
3. 第1項及び第2項の規定が当社の責任の全てであり、本サービスの利用若しくは不利用に関して、または本サービスに関する履行若しくは不履行に関して、明示的であれ黙示的であれ、当社はこれ以外に一切の保証責任を負うことはないものとします。

第15条(利用者の損害賠償)

利用者は、本サービスの利用により当社または他の第三者に対して何らかの損害を与えた場合には、自己の責任と費用をもってこの損害を賠償するものとします。

第16条(不可抗力)

1. 天災、停電、火災、暴動、疫病その他の伝染病、或いは第三者による妨害行為等、当社の合理的支配の及ばない事由により生じた当社の本規約上の不履行、或いは履行遅滞については、当社は、利用者または第三者に一切責任を負いません。
2. 当社及びグローバルサインは個人情報やコンテンツを保護するための技術的、組織的な対策を実施します。但し、利用者が不正アクセスや改ざんに対する対策を行っていることが前提であり、これが実施されていない場合には、当社及びグローバルサインは対策上の責任を負いません。

第17条(契約の解除)

1. 利用者からの通知による解除の場合

利用者は、第5条第2項の更新の条文に従い、該当期間の末日の6営業日前までに当社に解除の通知を行うことによって、いつでも本サービスの契約を解除することができます。

2. 違反事由による即時解除の場合

当社は、利用者について次の各号に掲げるいずれかの事由がある時は、直ちに無催告で利用契約を解除することができるものとします。

- (1) 本規約の定める義務に違反した場合。
- (2) 破産手続その他の倒産手続の申立が行われた場合。
- (3) 当社に対し虚偽の事実を申告した場合。
- (4) 風説の流布、偽計若しくは威力を用いて当社の信用を毀損し、または業務を妨害した場合。
- (5) 前各号に定める場合の他、当社が業務を行う上で重大な支障がある場合または重大な支障の生じるおそれがある場合。

3. 解除に関する特約

当社は、前項に定める解除を行った場合であっても、その利用者に対する損害賠償請求権は失わないものとします。

第18条(データ等の削除)

1. 当社は、本サービスが利用期間の満了若しくは解除により終了した場合、データ等(ユーザ情報及び設定情報等)の削除を行います。データ等の削除により損害が生じた場合であっても、当社は、利用者または第三者に対し削除したデータ等の復旧、損害の賠償その他一切の責任を負いません。

2. 利用者は、本サービスの利用期間の満了日または解除日までに、利用者の責任において、必要なデータ等を複製して利用者自身で保護するものとします。

第19条(利用者から当社への許諾に関する特約)

当社及びグローバルサインは、利用者の利用履歴等の情報から、利用者の個人を特定できない形式による数字、統計データ等を作成し、当該統計データ等につき何らの制限なく、市場調査等に利用することができるものとします。

第20条(著作権)

1. 本サービスに関連するソフトウェアの著作権はグローバルサインに帰属します。また、本サービスに関連するソフトウェアに内在する第三者部分については当該権利者に帰属します。また本規約に明示的に利用者に与えられていない権利は、全て当社またはグローバルサインに留保されます。

第21条(商標)

1. 本サービス関連の Web サイトに使用されるサービスマーク、グラフィックス及びロゴは、当社またはグローバルサインの商標です。また本サービス関連の Web サイトにおける第三者部分の商標は当該権利者に帰属します。
2. 利用者は、他の第三者の Web サイトに当該商標に類似、或いは侵害するような形跡を発見した場合、これを当社に速やかに報告するよう努めるものとします。

第22条(存続条項)

利用期間の満了または解除により利用契約が終了した場合でも第10条(利用者の譲渡転貸等の禁止)、第13条(免責)、第14条(当社の損害賠償)、第15条(利用者の損害賠償)、第17条(契約の解除)第3項、第18条(データ等の削除)、第19条(利用者から当社への許諾に関する特約)、第20条(著作権)、本条及び第25条(準拠法及び裁判管轄)の規定はなお有効とします。

第23条(個人情報)

当社及びグローバルサインは、利用者の個人情報を別途 Web サイト上に掲示する「プライバシーポリシー」に基づき、適切に取り扱うものとします。

第24条(紛争の解決のための努力)

本サービスに関して紛争が生じた時は、各当事者は、相互の協力の精神に基づき、協議してこれを解決するものとします。

第25条(準拠法及び裁判管轄)

1. 本規約の準拠法は、日本国の法令とします。
2. 万一、本サービスに関して訴訟が発生した場合は、東京地方裁判所または名古屋地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第26条(本サービスの料金)

本サービスの初期費用、月額費用及び支払方法は、別途当社が定めるとおりとします。

第27条(本サービスの返金)

本サービスの提供が利用期間内に停止することとなった場合でも、当社は、支払済みの料金について返金を行いません。但し、提供停止が当社の責に帰すべき事由によるものである場合は、この限りではありません。

附則

(実施期日)

1 この規定は令和元年7月12日より実施します。

附則

(実施期日)

1 この改正規定は2021年3月1日より実施します。